

## 自分の感情 ストレートに

「体に密着させて弾くので、音の動きが直接体に伝わってくる。自分の感情をストレートに伝えられる」。ボタン式アコーディオン奏者、かとうかなこさん(28) 写真

||はアコーディオンの魅力をそう語る。大阪府豊中市出身。4歳の時に父親の影響でアコーディオンを始めた。「変な動きが面白くて」。高校卒業後、専門的に学ぶため、単身でフランスへ旅立った。パリの学校で2年間学んだ後、入学したのはパリから500<sup>キロ</sup>以上離れた人口約300人の小さな町の学校。豊かな自然の中で「アコ



ーディオンの漬け」の毎日を送った。

うまく演奏できなかつたある日、先生に湖に連れて行かれ、「呼吸ができていないから呼吸しなさい」と教わった。蛇腹を動かす、空気を出し入れする楽器なので、自身の呼吸も大事だ。今もあの田舎町で空を見上げて深呼吸したことを思い出すという。

最近リリースした「独奏」からは、息遣いが聞こえてくるようだ。学校や病院などを回って、アコーディオンの魅力を身近に感じてもらうことにも熱心だ。「ジャンルにこだわらず自分らしい音をつくっていきたい」

【佐藤敬一】